

事前評価シート

担当課 担当名	道路建設課 国県道担当
作成年月日	2023/3/10

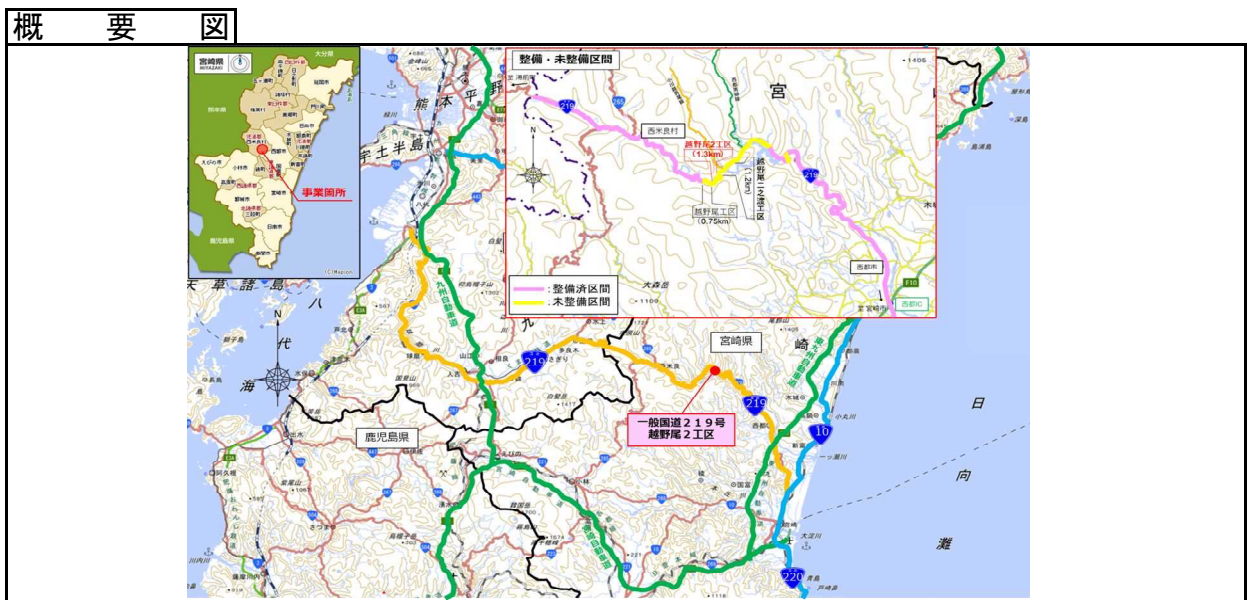
事業名	道路事業（補助事業：重要物流道路）		
箇所名	一般国道219号 越野尾2工区	市町村名	西米良村

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 補助	<input type="checkbox"/> 交付金	<input type="checkbox"/> 県単		
事業費 (百万円)	全体事業費	国費	県費	その他	一般財源
	7,800	4,290	3,510		
事業期間	事業着手	目標完成年度			
	R5	R14			

総合長期計画上の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
細項目名	C-5 経済・交流を支える基盤が整った社会	
	C-5-(3) 交通・物流ネットワークの整備・充実	
	2 県内拠点と高速道路を連絡するアクセス道路の整備推進	

全体計画
 一般国道219号は、九州縦貫自動車道と東九州自動車道を結び、広域的なネットワークを形成する道路であり、西米良村で生産されるスギ原木等の輸送ルートとして利用するなど、地域産業を支える重要な道路である他、南海トラフ地震発生時の道路啓開において、応援部隊や緊急物資輸送の移動ルートとして啓開活動を支援する道路となっているが、約9 kmが未整備となっている。
 この未整備区間（幅員狭小や線形不良等の区間）を早急に整備し、平常時・災害時を問わない安定的な物流ネットワークの構築を目的とした道路整備である。

事業目的
 当該工区については、道路線形が悪く、幅員狭小区間が連続しているため大型車の離合が困難な状況である。また、災害も発生しており、今後も異常気象時には交通途絶の危険性が懸念される。当事業は、幅員狭小及び線形不良区間の是正を図るとともに災害の危険性を解消し、安全で安心な交通の確保と、物流の効率化を目的に道路改良を計画するものである。



事前評価シート

事業名	道路事業(補助事業:重要物流道路)
箇所名	一般国道219号 越野尾2工区

(1) 事業の重要度に関する評価

評価の視点	評価項目	審査項目	判断基準	配点	評価点
成立性	①上位計画との関連性に関する事項	○国・県レベルの計画に関する事項 ・広域道路整備基本計画での位置付け ・1.5車線の道路整備との関連性 ・国家的プロジェクトとの関連性 ・国の重点施策との関連性 ・県のプロジェクトとの関連性	別表1)参照	8	6
		○市町村レベルの計画に関する事項 ・市町村総合計画(建設計画)での位置付け ・都市マスタープランでの位置付け ・市町村のプロジェクトとの関連性	別表2)参照	4	4
		○県総合長期計画に関する事項	別表3)参照	3	3
	②他事業との関連性に関する事項	○他事業等との関連に関する事項 ・大規模公共施設関連道路 ・農林道一体整備道路 ・他事業との関連性 ・市町村合併支援道路	別表4)参照	5	0
		小計			20
	必要性有効性	③事業による効果に関する事項	○道路位置付けに関する事項 ・地域高規格道路 ・都市計画道路 ・緊急輸送道路	別表5)参照	13
○道路の機能に関する事項 ・地域高規格道路へのアクセス強化 ・バス路線 ・大型車とのすれ違い ・孤立化する集落の解消 ・特殊車両指定道路 ・ネットワーク形成 ・代替道路			別表6)参照	12	12
○交流:連携の強化に関する事項 ・県際道路の整備 ・高速道路関連整備 ・公共交通機関関連道路 ・物流拠点へのアクセス強化 ・観光地へのアクセス ・広域構想等に資する道路			別表7)参照	13	13
○生活環境を改善する事項 ・2・3次救急医療施設へのアクセス強化 ・H8防災対策点検対策箇所 ・渋滞対策プログラム箇所 ・歩行者の安全性向上 ・雨量規制区間 ・振動、騒音の緩和			別表8)参照	11	11
○道路現況の改善に関する事項		別表9)参照	11	4	
		小計 ・交通量 ・混雑度 ・通学路		5	0
		小計 ・事故多発区間 ・改良率	別表9)参照	6	4
④環境への影響に関する事項		○自然環境への影響に関する事項 ・自然環境保全地域または緑地環境保全地域内の事業	別表10)参照	2	2
		○環境への配慮:保全に関する事項 ・緑化や景観 ・建設副産物発生抑制、再利用 ・生態系 ・騒音・振動・水質汚濁	別表10)参照	8	8
		小計		70	60
	合計		100	83	
実行性	⑤地元からの要望活動に関する事項	○地元要望の熱意に関する事項 ・要望活動に関する事項	別表11)参照	5	5
	⑥事業計画への住民参加に関する事項	○合意形成の有無と住民参加への熱意に関する事項 ・1.5車線の整備で地元合意が取られている ・都市計画道路である ・地元の協力体制が文書で報告済みである ・区画整理事業、ほ場整備区域内である ・計画段階からPIを導入している ・用地区域5割以上の買収了解を取り付けている	別表12)参照	5	5
小計			10	10	
合計			100	83	

(2) 事業効率に関する評価

評価項目	評価結果
費用対効果(B/C)	1.30

(3) 総合評価

評価項目による判定結果	判定結果
重要度ランク	I
事業効率	B/C=1.30
新規事業として事業実施可能	